

## JNSA 会員企業のサービス・製品・イベント情報です。

## ■製品情報■

## ○「AntiMalware (アンチマルウェア)」

「アンチスパイウェア」と「アンチウイルス」のダブルエンジンを搭載した「AntiMalware」は、ワンクリックウェアを含むスパイウェア、キーロガー、ウイルス、ワームなどのマルウェア、および Winny、WinMX、Share などのファイル交換ソフトに対応した法人向けマルウェア総合対策ソフトです。海外産に加え、国産のマルウェア対策を強化しインターネットに潜む様々な危険から企業のPCと情報を守ります。※ASPサービス版もございます。

## 【製品情報詳細】

<http://www.ahkun.jp/product/am.html>

## ◆お問い合わせ先◆

株式会社アークン  
TEL: 03-5294-6065  
E-mail: sales@ahkun.jp

## ○MSIESER (エムシーサー)

MSIESER (エムシーサー)はネットワーク上の通信を記録し、必要な時に解析・復元してネットワーク利用を監視する「フォレンジック・サーバー」です。日本版SOX法や新会社法で要求されている「ITによる内部統制」や情報漏洩対策として抑止・監査・証明・記録・証拠に威力を発揮します。

また、誰がいつ・何を・どのように・何のために・・・を素早く解明します。

内・外部の不正利用者・痕跡を追跡、発見して解明する手段をご提供します。

## 【製品情報詳細】

<http://www.ryoyo.co.jp/index.shtml>

## ◆お問い合わせ先◆

菱洋エレクトロ株式会社  
システム情報機器営業第2本部 MSIESER プロジェクト  
TEL: 03-3546-5040  
E-mail: msieser@ryoyo.co.jp

## ○EnCase Enterprise (エンケースエンタープライズ)

EnCaseはネットワーク越しに調査が可能なフォレンジック製品の決定版です。RAM上のデータやHDDをビットレベルで調査することが出来ます。また内部調査(eDiscovery)やインシデントレスポンスで時間とコストを大幅に削減できます。これらの調査結果は法廷証拠として全米で認められており多くの実績があります。COSOを基準とするSOX法にも有効利用できるNIST (米国技術標準局)は2003年にEnCaseのForensicを正式認定しています。

## 【製品情報詳細】

<http://www.encase.jp/>

## ◆お問い合わせ先◆

株式会社ワイ・イー・シー  
<http://www.kk-yec.co.jp/inquiry/inquiry01.html>

## ○HP OpenView Select Identity

Select Identityは、セキュリティポリシーに応じた、ユーザアカウントの登録、変更、削除といったIDライフサイクルに応じた設定をITシステムへ迅速に自動化する「IDプロビジョニング」をおこないます。

優位性として、業界No.1の使い勝手の良さ、簡単な配備ができることがあげられ、HP社全体で利用されています。

ユーザ管理やリソース利用にかかる作業を減らしコストを削減し、ITリソースへユーザを素早くアクセスさせることで生産性を向上させる利点があります。

## 【製品情報詳細】

<http://www.hp.com/jp/openview/>

## ◆お問い合わせ先◆

日本ヒューレット・パッカート株式会社  
ソフトウェア・マーケティング部  
E-mail: openview\_jpn@hp.com

## ○ネットワークフォレンジック「NetRAPTOR」

NetRAPTORは通信データの採取・保存をすることで情報を扱う社員の意識を向上させ、いざというときには強力な検証機能をもって企業の説明責任を果たす支援をする情報セキュリティ監査アプリケーションです。

インターネットの私用閲覧、ネット掲示板への書き込み、Webメール、メール添付ファイルなどの通信を調査・再現し不適切な利用を発見します。

## 【製品情報詳細】

<http://www.eni.co.jp/netraptor/index.html>

## ◆お問い合わせ先◆

アイネット・システムズ株式会社  
ネットワーク事業部  
Tel:06-6282-1760 Fax:06-6282-1762  
E-mail: net\_sales@ains.co.jp

## ○「NOD32 アンチウイルス V2.5」

「NOD32 アンチウイルス V2.5」は、ウイルス定義ファイルにはない未知(新種)のウイルスを検出するウイルス対策ソフトです。独自のヒューリスティック機能を用いて、プログラムコードを素早く解析し、非常に高い確率でウイルス侵入を防ぎます。また、次世代のハイパフォーマンスな動作を可能にする

64ビットOS環境にもいち早く対応し、高速かつ軽快に、既知・未知のウイルスから守ります。

【製品情報詳細】

<http://canon-sol.jp/product/nd/>

◆お問い合わせ先◆

キヤノンシステムソリューションズ株式会社

E-mail: [nod-info@canon-sol.co.jp](mailto:nod-info@canon-sol.co.jp)

■ サービス情報 ■

○個人情報漏えい緊急対応サービス【個人情報119】

セキュリティインシデントに対して業界でも屈指の支援実績をもつ当社ラックがご提供する、個人情報漏えい事件のお助けサービス。

SQLインジェクションなど各種脆弱性をついた個人情報漏えい、Winnyによる情報流出事件などに際して、被害拡大の防止策、謝罪、関係機関への届出支援、メディアへの公表手続きに関するアドバイス、復旧支援に至るまで、一括してサポートします。

困ったとき、まずはご一報ください。

【サービス情報詳細】

<http://www.lac.co.jp/p119/index.html>

◆お問い合わせ先◆

株式会社ラック 個人情報119担当者

E-mail: [p119@lac.co.jp](mailto:p119@lac.co.jp)

■ イベント情報 ■

○HP Software Forum Tokyo 2006

HPソフトウェアの年次イベントである「HP Software Forum Tokyo 2006」が来る9月中旬に開催されます。

【日 時】2006年9月19日(火)

10:00～18:30 (受付開始: 9:30)

【会 場】東京コンファレンスセンター 品川

アクセス制御、パスワード管理、ユーザープロビジョニング、さらには連携アイデンティティに関して、海外講師による特別セッション『コンプライアンスからみた、ID管理の基礎`HP OpenViewソリューションと海外先進事例での考察`』が同日16:30から開催されます。

この他、ID管理最新製品デモも展示されます。

【イベント情報詳細】

<http://www.hp.com/jp/swf2006/>

◆お問い合わせ先◆

日本ヒューレット・パッカー株式会社

HPセミナー事務局

E-mail: [call.hp@hp.com](mailto:call.hp@hp.com)

○BCM(事業継続管理)実践トレーニング

ーワークショップ付3日間コース(同時通訳付)ー

【日 時】平成18年9月11日(月)～9月13日(水)

10:00～17:00 (開場9:30)

【会 場】全国農業共済会館3F テクノ研修センター

BSIとともに英国事業継続協会(BCI)がBCMの仕様として開発したPAS56、さらにBS25999へと進化しISO化が検討されているBCMに関する日本で初めてのBCI認定講座。

BCMで先進している英国において数多くのコンサルティング実績を持つ専門家が講師として、業務プロセスの重要性、相互依存性、継続のための要件、リスク、影響度分析などワークショップを交えた内容。

【イベント情報詳細】

<http://www.itpg.co.jp/news.html>

◆お問い合わせ先◆

株式会社ITプロフェッショナル・グループ

E-mail: [contact@itpg.co.jp](mailto:contact@itpg.co.jp)

TEL 03 (3583) 8240 FAX 03 (3583) 8669